

【漢字読本：一学年分の漢字が全て入っている一つの物語】 工夫次第で読み・書き・意味・語句の使い方・暗唱・作文にも使えます。

【六年生のサンプル原形】 読めなくていい漢字にはルビをふって使用（できるだけ漢字を使う）

今回の勤務には二つの系統があり、刻一刻と変化する状況にも対応できる体制になっていた。私が与えられた家の卵形の窓は海に臨んでいる。その窓からは真ん中にボツカリ穴の開いた賃貸高層住宅が痛々しく並んで見える。高齢化社会時代の遺物で、海上に建設された看護専用の高級マンションだったもの。建物の方になると対する赤い太陽の光が晩花火の様な光景が窓から見える。海面に映し出される揺れる光は潮の具合で、秋の夕暮れには何とも言えない幻想的な空間を創り出す。今日は午後から灰色の雨が降った。大氣中に混在している危険物質や宇宙からの病原菌の拡散を防ぐ為の雨だが気持ちのいい光景とは言い難い翌朝、海岸の視察に出た。就任当初は様々な感染を防ぐことが出来るサイボーグ治療を受けた人専用の療養施設がある。私の班の担当施設ではないが、時々訪れることにしている。殆どの人が元医療従事者で自分から志願して治療を受けた人々である。サイボーグ治療という閉ざされた分野に捨て身で貢献した、所謂模型派と呼ばれる人々だ。一時はロボット崇拜と批判されたが、彼らの功績は枚挙にいとまがない。明報も多かったが、同時に悲報もよく耳にした。彼らの諸データは至至とまで言われたが実験専用のクローンは誕生したことで段階的に人体実験の規模は縮小された。純粹なサイボーグは、骨格と胸・腹・尻の筋肉に当たる部分は鋼で作られ、表面は絹のようなソフトだが衝撃を吸収することが出来る人工皮膚をまとっている。純粹なサイボーグではない彼らは、戸籍上では除籍処理はされていない。しかし、身よりのない人ばかりなので第二次除籍者候補という宣言を受けている。納得できる話ではないが現内閣の第一政党執行部の決定なので受け入れざるを得ない。脳をサイボーグ化されると除籍される。尊敬されるべきなのに、今は隔離されて生き延びているというのが実状だ。厳しい現実だ。政府には暖かい心で誠実な対応をしてもらいたい。

砂丘で困った顔をして座っている人の姿を目にした。歩行装置には傷を負っているようだったが心臓装置には障害は認められなかった。その声は掛けなかつた。近くには緊急避難難所もあったので、近くの地域署に連絡だけ入れておいた。温暖な地域なので一日中外にはた秘密はない。五十年ほど前には盛んだった秘蔵の臓器売買（特に乳幼児の臓器売買）は臓器移植推進派の消滅と共に存続理由を失い、水が蒸発するように自然に消えて無くなつた。かつて聖域とされていた臓器移植は今ではサイボーグ治療の補助手段に過ぎない。

先日、我々が作り上げた宇宙船が異次元空間域への進入を可能にした。このことは果てしない新しい宇宙探検の始まりを意味する。この時は流石に興奮したり、予想外の展開に腹の上にコーヒを垂れ流しながら新しい宇宙の幕開けに見入っている著名な博士もいた。机上の上の計算は簡単だったが進入する際のエネルギーの値を制御する技術が追いつくのに二百年の歳月を要した。針の穴を毛通すような正確さで縦横無尽にエネルギー量を変化させることができるエンジンが必要だったのだ。今の快拳には比較的若い磁力研究者が貢献している。彼らの今後が楽しみである。現在、その宇宙船は、解凍されて新しく任務に就いた指揮官のもと、故郷である地球に向かって航行中である。足を棒にして働いた甲斐があった。そのうち、宇宙同盟などという言葉も現実のものとなるのだろう。

自然と言えは、先日、埋もれていた泉の中から数千年前の樹木の切り株が発見され、今、再生されるのを防げた。氷のおかげで干からびるのを防げたらしい。自然の驚異だ。さらに、その切り株にはアサガオが巻き付いていたらしく、上手いけば数千年ぶりにアサガオを見ることのできるかと期待されている。また、ネイチャー誌によれば、穀物と蜜を再生する試みは最終段階に至っているらしいが、収穫までには世界政府による特別救済政策が必要とのことだ。いつの時でも自然は私達の至である。世界政府が動いてくれることを期待する。

政治の世界では、数年前に誕生した元貴族たちがかりという、まだ乳離れもしていないような幼い優等生的集団・貴族党が亡国論を掲げサイボーグ治療を宗教的な背徳行為として大衆を洗脳したいようだが道徳の基となる善悪の判断根拠は数百年も前に否定されている。権利のみを主張して止まない自己中心的な誤った思想をもつクビ大将と言ったところか。これでは尊敬される訳がない。先日、紅色の絨毯の上で、親孝行を説かれていた天皇・皇后両陛下のホログラムを拝見したが、彼らには親孝行の意味すら分かっていないのだろう。相変わらず、内閣は行政改革を進めているが、今回のKABシステムという、何の届け出もなく簡単な操作で個人の知能情報を一覽できる機構を作動させることには慎重にならざるを得ない。警察は劇的に犯罪を抑制できると言つたが、地方の行政が強力に分割されている現状では憲法違反の疑いもあり、激しい抵抗を受けるだろう。政府が委託した調査委員会も今回のシステムを疑問視する意見書を出した。政府はこの意見書に沿って各省庁に新しい基準作りを検討させている。個人的には、このシステムが稼働しても防犯効果は薄いと考えている。民主裁判になるかもしれない。

政府はよく、コンピュータを自在に操れる時代になったというが、言葉とは裏腹に単に爛熟期に入っているだけだと批判する者もいる。出版といえは、電子書籍のことを意味する。一時世だが、欲を言えどこの本屋でお蔵入りになっている紙の本が数冊でもいいから手に入ると嬉しい。完全ペーパーレスの今となっては一寸贅沢な願いだろうか。（おわり）